

伊犁紀行 上卷

陸軍歩兵少佐 日野 強 著

日誌之部

第一章 出發の準備

新疆視察
の内命

新疆は舊と是れ西戎西域の地、土地僻遠にして今尙ほ文明の曙光に浴せず。交通機關未だ備はらず。之を凌ぎて此に到らんとする、實に容易の業に非ざるなり。明治三十九年七月下旬、予は其筋より新疆視察の内命を受けたり。予は清國の北部には、多少經驗する所ありしも、其の西部に至りては、未だ何等の研究を試みたること有らず。況んや新疆に於てをや。聞くが如くんば、地は多く戈壁に屬し、天を摩するの高山、四時雪を戴くの峻峰、縦横に起伏し。大小の河川、其の間を縫ふて奔